



2021年版レスリングルールの要点について

2021年2月1日現在
UWW世界レスリング連盟
公益財団法人日本レスリング協会
審判委員会

1 階級

シニア20歳～

[男子フリースタイル F S]

五輪大会 57kg・65kg・74kg・86kg・97kg・125kg
五輪以外 57kg・61kg・65kg・70kg・74kg・79kg・86kg・92kg・97kg・125kg

[男子グレコローマンスタイル G R]

五輪大会 60kg・67kg・77kg・87kg・97kg・130kg
五輪以外 55kg・60kg・63kg・67kg・72kg・77kg・82kg・87kg・97kg・130kg

[女子フリースタイル WW]

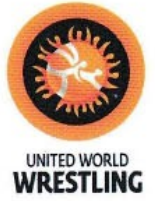
五輪大会 50kg・53kg・57kg・62kg・68kg・76kg
五輪以外 50kg・53kg・55kg・57kg・59kg・62kg・65kg・68kg・72kg・76kg

ジュニア18～20歳

F S 57kg・61kg・65kg・70kg・74kg・79kg・86kg・92kg・97kg・125kg
G R 55kg・60kg・63kg・67kg・72kg・77kg・82kg・87kg・97kg・130kg
WW 50kg・53kg・55kg・57kg・59kg・62kg・65kg・68kg・72kg・76kg

カデット 16・17歳

F S・G R 41-45kg・48kg・51kg・55kg・60kg・65kg・71kg・80kg・92kg・110kg
WW 36-40kg・43kg・46kg・49kg・53kg・57kg・61kg・65kg・69kg・73kg



2 競技システム

(1) トーナメント方式で実施し、決勝進出者に敗退した者が敗者復活戦(REPECHAGE)出場権を得る。

◆ トーナメント表は、8の倍数(8・16・32・64)になるように組み、8の倍数にならない場合は予備戦を行い、インシャルNo.の大きい側(下側)へ予備戦が配置される。

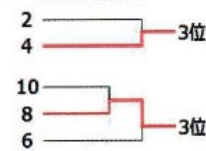
◆ 敗者復活戦の最終勝者が3位、敗者が5位となる。(3位・5位が2名となる。)

◆ 7位以降の順位は、勝ち点総数・勝ち点内容・総得点・総失点により決定される。

10名の例



REPECHAGE



◆ 各階級の試合は2日間で実施され、競技の前日に抽選、初日は、メディカルチェック・計量の後、準決勝まで、2日目は、計量の後、敗者復活戦、3位決定戦、決勝が行われる。

◆ 参加選手が16名を下回る場合は、1日制で競技を行う事もある。(当日の朝、メディカルチェック・計量・抽選)

◆ トップシード(T S 1～4)制を適用する場合、シード選手は原則予備戦なしで組合せが行われる。

◆ 8名未満はノルディック方式となる。

◎ 6名・7名の場合

2プール制リーグ戦の後、クロス準決勝・3位決定戦・決勝を行う。

例:丸数字は抽選番号

①→A ②→B ③→A ④→B
⑤→A ⑥→B ⑦→A

◎ 6名未満は、総当たり方式

※ 2日制では、リーグ戦の最終ラウンドは2日目の実施となる。(3位は1名)

(2) 勝ち点は以下のとおりである。

VFA	VICTORY BY FALL フォールによる勝利
5:0	
VIN	VICTORY BY INJURY 負傷棄権の試合による勝利
5:0	If an athlete is injured before or during a bout
VCA	VICTORY BY 3 CAUTIONS 警告3回による勝利
5:0	3 cautions given to the opponent during a bout
VSU	VICTORY BY TECHNICAL SUPERIORITY テクニカルフォール敗者ポイント無し
4:0	Without any point scored by the opponent
VSU1	VICTORY BY TECHNICAL SUPERIORITY テクニカルフォール敗者ポイント有り
4:1	With point(s) scored by the opponent
VPO	VICTORY BY POINTS 判定 敗者ポイント無し
3:0	Without any point scored by the opponent
VPO1	VICTORY BY POINTS 判定 敗者ポイント有り
3:1	With point(s) scored by the opponent
VFO	VICTORY BY FORFEIT* 不戦勝 棄権試合による勝利
5:0	If an athlete doesn't show up on the mat
DSQ	DISQUALIFICATION* 罰則による失格
5:0	before or during the bout for unfair behavior
2DSQ	DOUBLE DISQUALIFICATION* 両者失格
0:0	both wrestlers disqualified due to infractions

3 得点システム

(1) フォールがない場合、3分2ピリオドのトータルポイントで勝敗を決定する。技術展開によって得点差が規定の数(F S 10点・G R 8点)になった場合、その技術展開が終了した時点でテクニカルフォールが成立し、試合終了となる。

(2) 同点時の勝者決定手順

- ① 得点価値の高さ(ビッグポイント)
- ② 警告が少ない選手(コーション)
- ③ 最終ポイントを獲った選手(ラストポイント)

(3) 3回の警告(コーション:○)を受けた者は敗者となるが、グレコローマンスタイルにおける防御者の足(脚)の反則【レッグファウル】は、一回目○+2、二回目の反則を犯した時点で試合終了、反則者は敗者となる。

(4) 技術点評価(反則点)

F S・WW<男女フリースタイル>

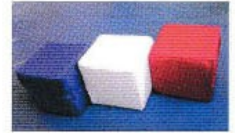
1点	・場外ポイント ・テイクダウンされてから反撃のカウントアタック ・アクティブイティブリート30秒後、無得点時の罰則 ・チャレンジ失敗<相手に1点>
2点	・テイクダウン・ガッツレンチ・アングルホールド ・デンジャーポジション・コレクトホールド(移動ポイント)
4点	・スモールアンプリフトでダイレクトデンジャーポジション ・グラントアンプリフトでノーデンジャーポジション
5点	・グラントアンプリフトでダイレクトデンジャーポジション
反則	○+1が原則 ・バーテラでデンジャーポジションで場外逃避は○+2 バーテラ再開

G R<グレコローマンスタイル>

1点	・場外ポイント ・オーダードル・テラ適用時に積極的レスラーに1点(1, 2回目) ・チャレンジ失敗<相手に1点>
2点	・テイクダウン・ガッツレンチ ・デンジャーポジション ・コレクトホールド(移動ポイント)
4点	・スモールアンプリフトでダイレクトデンジャーポジション ・グラントアンプリフトでノーデンジャーポジション
5点	・グラントアンプリフトでダイレクトデンジャーポジション
反則	○+2が原則 ・攻撃者の反則は一回目注意、二回目○+1 ・防御者の足(脚)の反則一回目○+2、二回目敗者となる

4 チャレンジシステム (VIDEO判定要請)

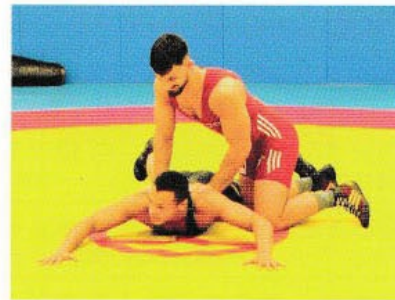
- (1) 審判団(マツチエアマン・レフェリー・ジャッジ)はコンサルテーションによりビデオを使用する事が出来ない。
- (2) コーチ(セコンド)は1試合に1回、チャレンジ(ビデオ判定)を審判団に対し要請できる。
- (3) コーチ(セコンド)はコーナー色のスポンジ(CUBE)を投げ入れて「チャレンジ」を要請する。
※セコンドの要請に対して選手がチャレンジを拒否する事もできる。
- (4) マツチエアマンはチャレンジを確認したら、試合がニュートラル状態であることを確認し、試合を止める。
- (5) 両コーナーのセコンドと共にVTRを見る審判員は、ジュリー2名とマツチエアマンとする。ポイントはジュリーが提示し、プラスポイントはマツチエアマンが提示する。チャレンジにおけるジュリーの判定は最終決定。
- (6) チャレンジが認められた場合は、得点が修正され再度チャレンジ権が認められる。
- (7) チャレンジが認められない場合、対戦者に1点が入りその試合のチャレンジ権を失う。
- (8) チャレンジの結果、相手の得点が増えた場合はチャレンジ失敗となる。
- (9) ジュリーは各大会で大会会長または、その目的の為に指名された審判が行う。



5 消極的選手の摘発

- (1) フリースタイルの場合
 - ① 試合は中断され、最初の「パッシブ」が口頭で与えられる。 ※ パッシブ(正式にはパッシビティー-passivity)
 - ② 同様に2度目の「パッシブ」を受けた場合、アクティビティタイムとして「30秒の計時」が行われ、その30秒間にどちらの選手にもポイントが入らなかった場合、アクティビティタイムを課されたレスラーの相手に1点が与えられる。(コーションなし)
 - ③ アクティビティタイム30秒間が経過した時点で、レフェリーは試合を止めずに1点を成立させる。アクティビティタイムの間も技術回避等の行為は摘発され、防御側のコーションが成立する場合がある。
※第1ピリオド開始2分後に0:0のスコアである場合、審判団は消極的なレスラーを指定する必要がある。
※各ピリオド終了30秒未満に、審判団3人すべてがレスラーの技術回避に同意すると、ダイレクトに○+1が成立する。
- (2) グレコローマンスタイルの場合(オーダードパーテレは1試合に何度でも適用され、1ピリオドに2回も可能である。)
 - ① 最初の消極性(どのレスラーに関係なく)適用は、試合を止め、アクティブレスラーが1ポイントを獲得し、「スタンディング」または「パーテレ」のいずれかを選択することができる。(P)
 - ② 2回目の消極性(どのレスラーに関係なく)適用は、試合を止め、アクティブレスラーが1ポイントを獲得し、「スタンディング」または「パーテレ」のいずれかを選択することができる。(P)
 - ③ 3回目以降の消極性(どのレスラーに関係なく)適用では、試合を止め、アクティブなレスラーが「スタンディング」または「パーテレ」のどちらかを選択できます。アクティブレスラーには1ポイントは付与されません。(P)
※試合時間の短いU15やカデットも同様に適用される。

オーダードパーテレポジション (全てのスタイル)



6 ルール変更についての発表事項

2018.3.15 UWW審判クリニック JWF4月2日発表

- ◎コンサルテーションの際、VTRを見ることは廃止とする。
- ◎全スタイルにおいて粗暴行為を繰り返した選手に対しては、「レッドカード」を与える。
- ◎GRで防御者のレッグファウルは、二回で敗者となる。
 - ◇攻撃者の足の反則 1回目注意 2回目○+1
 - ◇防御者の足の反則 1回目○+2 2回目失格
- ◎FSの警告は○+1、GRの警告は○+2を原則とする。
- ◎パッシビティとネガティブスリングを区別する。

【パッシビティは、ペナルティ適用(各スタイル毎に異なる)】

例・反撃無しの攻撃回避

- ・相手の手首を握り、攻撃を始めない
- ・相手とコンタクトをしないで攻撃する
- ・攻撃をした後すぐに、元のポジションに戻る
- ・嘘のアタック
- ・ゾーンに逃げ(下がって)留まる
- ・センターでコントロールしない(センターで試合をしない)
- ・相手をゾーンに留める(ゾーンに追い込む)
- ・良いポジションにも関わらず、攻撃しない
- ・守備的なスリング(守ってばかりいる)

【ネガティブスリングは、警告(○+_)の対象】

例・ブロッキング ・ヘッドダウン[上半身を起こさない]

- ・スタンドスリングでオープン避ける
- ・指のロック
- ・相手の胸に頭をつけ続ける
- ・シミュレーション

2018.9.1発効 UWW8.22発表 JWF9月6日発表

- ・オーダードパーテレのフライング(45条)
- 【FS】◇攻撃側の選手が2回フライングをした場合、ペナルティ無しでスタンドから開始。
- ◇防御側の選手が2回フライングをした場合、○+1で再度パーテレで開始。
- 【GR】◇攻撃側の選手が2回フライングをした場合、ペナルティ無しでスタンドから開始。

◇防御側の選手が2回フライングをした場合、○+2で再度パーテレで開始。

・プッシュは、ノーポイント・ノーペナルティでセンター再開。

2018.10.21 UWW発表 JWF 11月9日発表
・「かにばさみ」が禁止技とされた。

2019.10.28 UWW発表 JWF 12月21日発表
・30秒間の給水は水だけとする。(透明ボトルのみとする)

※他の飲み物を飲んだ場合はイエローカードの対象。

・「かにばさみ」は膝の裏側・足首であれば可とする。(但し、膝の側方からかける事は禁止)但し、相手がそれにより怪我をした場合は、攻撃側が失格する。

2020.1.1 2020版ルールUWW発表

- ・8条…7位以下の順位(勝ち点が同数の場合の基準)
- ・11条…計量時間(初日医事含め30分・2日目15分)
- ・12条…抽選に不参加の際の処置(UWW代理抽選)
- ・14条…組合せ(2日目の計量不参加⇒相手の不戦勝)
- ・15条…競技会からの消去規程(ドーピングの対処等)
- ・34条…団体戦の順位決定基準の簡素化
- ・56条…医事介入(負傷した選手はUWW医師の承認)

2020.3.17 UWW発表

・15条…両者負傷DVIN追加

2021.2.1 2021版ルールUWW発表

- ・8条…ノルディックトーナメントの順位(直接対決考慮)
- ・34条…団体戦の順位決定方法(直接対決考慮)
- ・39条…GRパッシビティの1点を修正(3回目以降無し) …4点評価の投げ技[スタンドからとパーテレをリフトしてからの投げは共に相手を回転させれば成立(ショートアンプリチュード)]
- ・47条…パッシビティのGR適用3回目以降上・下の選択
- ・56条…負傷者は競技初日終了後、1時間以内にUWWドクターに報告 以上